

認知症と共に暮らす

3 すべての人に健康と福祉を



◆9月21日は
『世界アルツハイマーデー』

1994年9月21日、国際アルツハイマー病協会国際会議が開催。会議の初日であるこの日を『世界アルツハイマーデー』、9月を『世界アルツハイマー月間』と定め、世界的に認知症に関する様々な取り組みを行っています。

◆認知症とは

「アルツハイマー型」が認知症の多くを占めることは、ご存知の人も多いかと思えます。ただ「認知症」とは、正式には病気の名前ではなく『脳の機能が低下した状態』を示します。記憶力や判断力の低下に加え、脳の画像によって診断されるもので、単なる物忘れとは異なります。

◆早く気づくことが大切

「認知症」を生じる要因はたくさんあり、その病気ごとに、対応や治療法

をかえなければなりません。『早めに受診をした方がよい』といわれるのは、中には適切に対処すると改善する認知症があるためです。

◆まずは予防する

認知症の予防とは「ならない」ことではなく、『なるのを遅らせる』『進行を緩やかにする』という意味で、運動不足の改善、糖尿病や高血圧等の生活習慣病の予防、孤立の解消や社会的役割を持つことが重要とされています。

◆正しく理解する

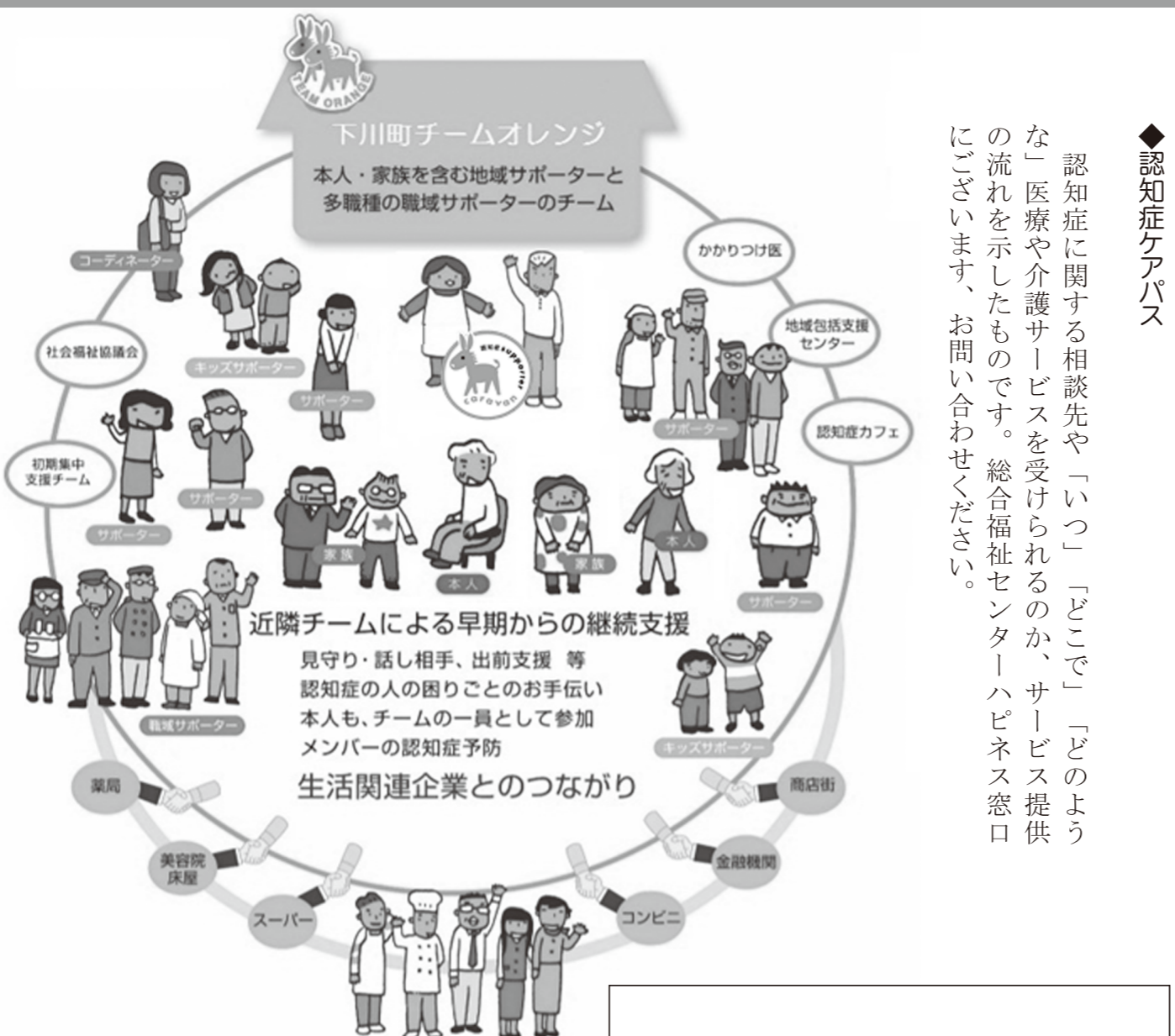
気をつけて生活していても病気になることがあるのと同じく、認知症は誰かがなりうる、とても身近な症状です。本人と家族が安心して暮らすには認知症に対する周囲の理解が重要です。環境、言葉かけや接し方ひとつで、症状の出現を防ぐこともあります。

◆共に生きる

自分や家族が認知症になり、生活上の困難が生じた場合でも、下川町ならではの『顔の見える関係性』の中で、周囲の理解と協力があれば、希望を持つて前を向き、力を活かしていくことができます。認知症と共に、また認知症があってもなくても同じ社会で共に、自分らしく暮らしていける下川町でありたいと思っています。

◆チームオレンジ

町では、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者『認知症サポーター』の養成を進めています。1時間半程度の講義を受講すれば、どなたでもなることができ、多くのサポーターによって、本人・家族を支えられる仕組みづくりを目指しています。このような取り組みを『チームオレンジ』と言い、本人・家族も含め、町民全体が一つのチームとなることで、認知症になっても安心して暮らしていけるまちづくりの第一歩となります。



◆認知症ケアパス

認知症に関する相談先や「いつ」「どこで」「どのような医療や介護サービスを受けられるのか、サービス提供の流れを示したものです。総合福祉センターハピネス窓口にご相談ください。

下川町認知症ケアパス

「認知症ケアパス」とは？
認知症発症から人生の最終段階まで、認知症の容態に応じ、相談先や「いつ」「どこで」「どのような」医療・介護サービスを受けられるのか、サービス提供の流れを示したものです

1. 認知症ってどんな病気？	1
2. 認知症予防策を生活に取り入れよう	2
3. 認知症に早く気づくことが大事！	3
4. 日常生活から認知症に気づく手がかり	4
5. 認知症の発症から容態に応じた支援の流れ	5
6. 認知症や介護の相談窓口・地域包括支援センター	7
7. “ワンチーム”で見守り支えあう町づくり	10
8. こんな時はどこに相談したらいいの？	11

困りごとや不安なことは、お気軽にご相談ください。電話や訪問でも相談をお受けしています。

**総合福祉センターハピネス内
「地域包括支援センター」**

☎ 5-1165
いい老後